

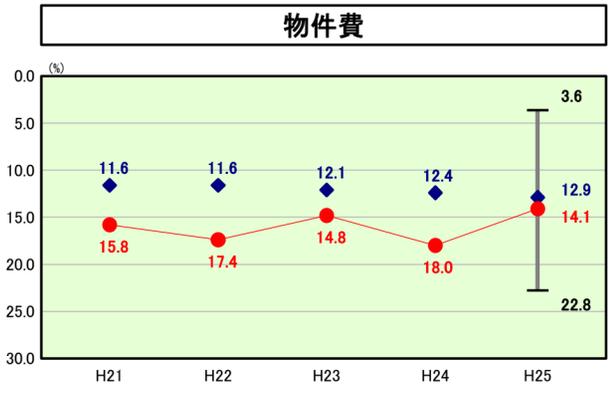
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

北海道音威子府村

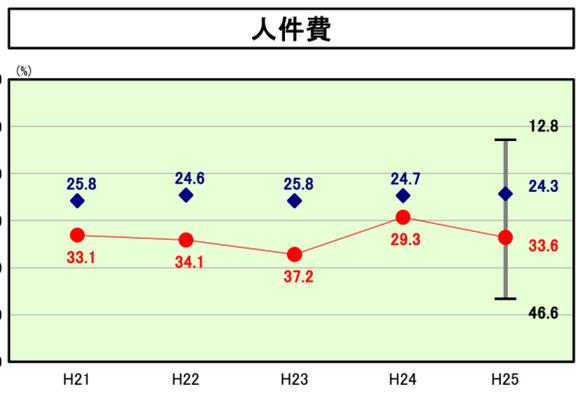
経常収支比率の分析

人口	828人	(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	826人	(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	275.64km ²		実質公債費比率	4.0%
歳入総額	2,760,246千円		将来負担比率	-%
歳出総額	2,638,858千円		市町村類型	H21 I-2 H22 I-2 H23 I-2
実質収支	121,388千円		(年度毎)	H24 I-2 H25 I-2
標準財政規模	1,577,876千円			



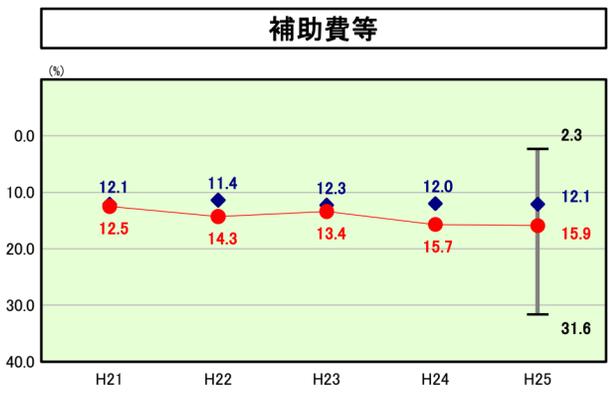
物件費の分析欄

前年度より3.9ポイント減少したものの、類似団体平均を上回っている状況が続いている。これは、庁舎管理をはじめ公共施設等維持管理、また、各種機器の保守管理などの委託料が主な要因となっている。今後も現状より大幅に上昇しないよう、管理委託契約等を行っていく。



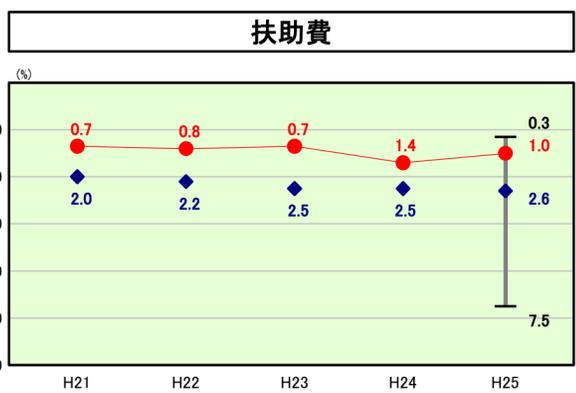
人件費の分析欄

人件費に係るものは、類似団体と比較して高い水準にあるが、これは村立高等学校の運営により職員数が類似団体打より比較して多いためである。今後も、運営の効率化などを図りながら増加しないよう努めていく。



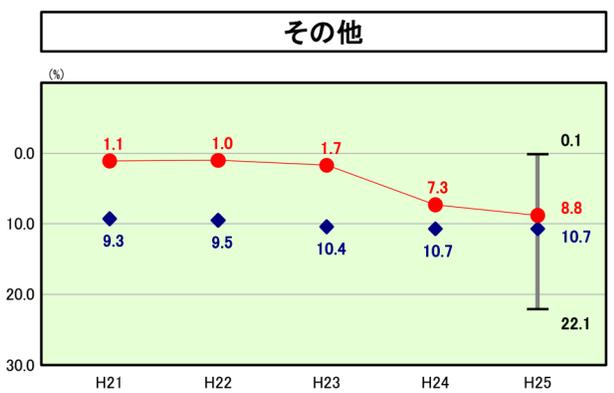
補助費等の分析欄

前年度より0.2ポイント微増し、類似平均団体よりも3.8ポイント上回っている。これは、事務組合への負担金(消防)が主なものである。今後も、事務組合と連携しながら適正な支出に努めていく。また、補助金等においても精査しながら適正な支出に努めていく。



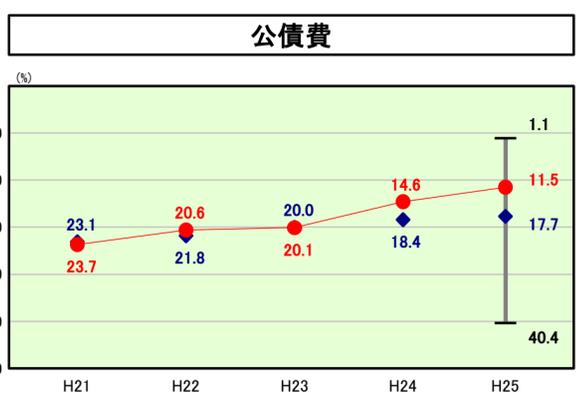
扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は、類似団体を大きく下回っている。前年度より0.4ポイント減少したものの、高齢化等が進んでいるため、今後増加に転じる可能性も含んでおり、増加を少しでも抑えるよう努めていく。



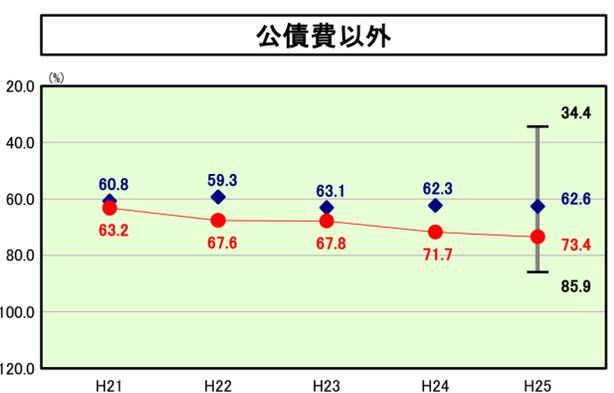
その他の分析欄

類似団体平均より1.9ポイント上回っている。これは各種基金積立の増加によるものである。今後も健全な財政運営を努めていく。



公債費の分析欄

前年度より3.1ポイント減少し、類似団体平均を6.2ポイント下回っている。今後も、適正な公債発行に努めていく。



公債費以外の分析欄

公債費以外のポイントが高い主な要因は人件費であるが、これは人件費欄にもあるとおり村立高等学校を運営している事による。今後も、人件費を含め物件費、補助費等の適正な支出を行い、経費の上昇を抑えるよう努めていく。